



防災対策 できていますか?

南海トラフ地震は
約10年後に襲ってくる
(2035年±5年)

その災害規模は東日本大震災より一桁大きい
鎌田浩毅 京都大学名誉教授引用

持出袋の準備



地震・災害対策



歴史は繰り返す! 南海トラフの危険性

現在の日本列島は「大地変動の時代」にあります。
近い将来「南海トラフ大地震」が予想され、全人口の半数 6000 万人が被災すると言われています。
これは東日本大震災の 10 倍の被害をもたらすとされ、早急に準備が必要です。南海トラフ大地震は 1000 年周期で繰り返されています。「日本書紀」をはじめ、数多の歴史書に大地震のことが記載されています。

南海トラフと仁和地震

● 869年 貞観地震 M8.3 以上

東北沖(三陸沖)の海底を震源域として発生した巨大地震。地震の規模は M8.3 以上で、津波被害も甚大だった。

● 887年 仁和地震 M8.0~8.5

貞観地震の 18 年後、東海・東南海・南海が三連動した南海トラフ沿いで巨大地震発生。大阪湾で大津波が発生した。

869年 貞観地震
2011年 東日本大震災

2011 年の東日本大震災は、この貞観地震の再来と言われており、政府の「地震調査研究推進本部」も今後 30 年以内に 70 ~ 80% の確率で南海トラフ大地震が発生する」と見解を示しています。

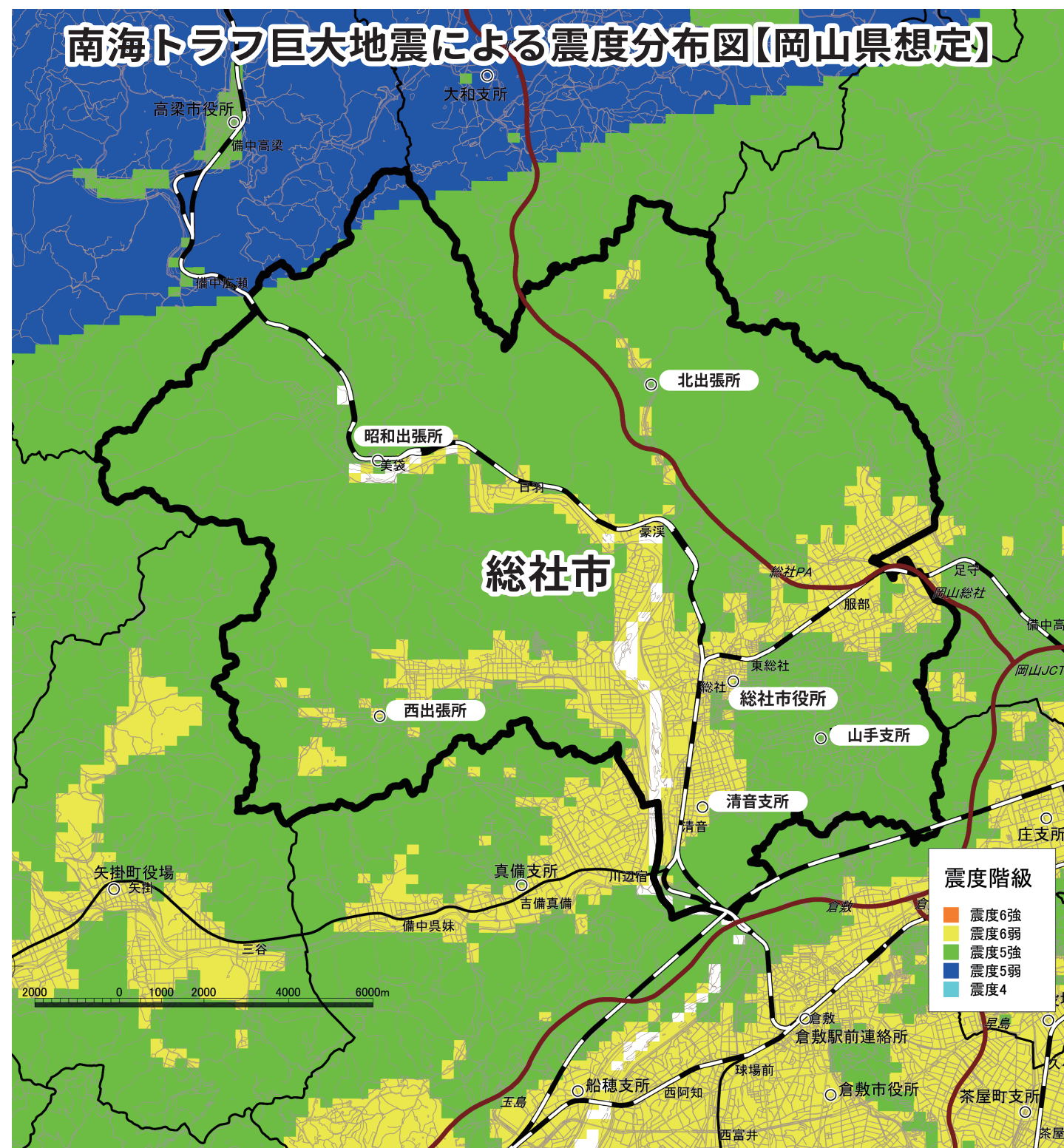
また南海トラフ大地震による震度分布図(4 ページ目に記載)を見ると、総社市は震度 5 強 ~ 6 弱と想定されています。

南海トラフ大地震に備えて、地震対策、持出袋の準備などできることから進めていきましょう。



887年 仁和地震
20??年 南海トラフ大地震

南海トラフ巨大地震による震度分布図【岡山県想定】



岡山県危機管理課 平成25年2月作成

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用(承認番号 平24情使、第706号)
また、国土交通省の国土数値情報(鉄道データ、高速道路時系列データ、市町村役場等及び公的集会施設データ)を使用

ご意見ご要望をお待ちしております

村木理英後援会事務所

〒719-1156 岡山県総社市門田507 TEL:0866-90-1001

E-mail: post@muraki-riei.com

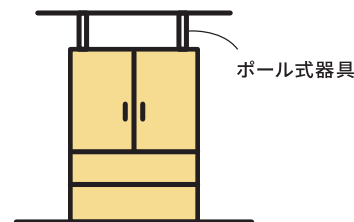
<https://muraki-riei.com/>



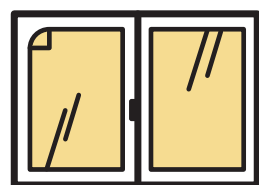
地震・災害対策

日頃から「もしもの時」に備え、さまざまな準備をしておきましょう。

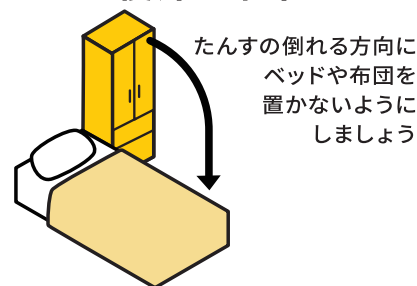
● 家具の転倒防止



● 窓ガラスの飛散防止



● 寝床の位置



● 家族との連絡方法確認



● 持出袋と備蓄品の準備



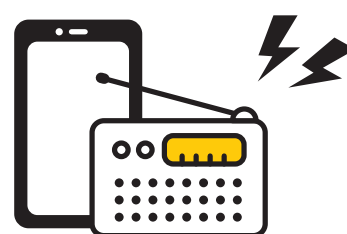
● 家周りの点検



● ハザードマップの確認



● 正しい情報の入手



● 危険箇所の確認



チェックしてみよう！



- ☐ 自分の家の危険度を知っている？
→ 築40年以上の家は、耐震基準が古いために倒壊しやすい
- ☐ 家の中は片付いている？
→ 散らかっていると避難に手間取る可能性がある
- ☐ 町内会や子ども会に入っていることがある？
→ 顔なじみになっていると、安否の確認がしやすい
- ☐ 車のガソリンは半分以上入っている？
→ 災害時はガソリンスタンドが混む上、ガソリンが無くなる

- ☐ 携帯電話やスマートフォンの乾電池式充電器を持っている？
→ 災害時は固定電話が使えなくなる
- ☐ 浴槽に水を少しは残している？
→ 災害時は断水する(トイレの水など)
- ☐ たんす貯金をしていない？
→ 災害時、強盗の被害に遭うことがある

1次持出品



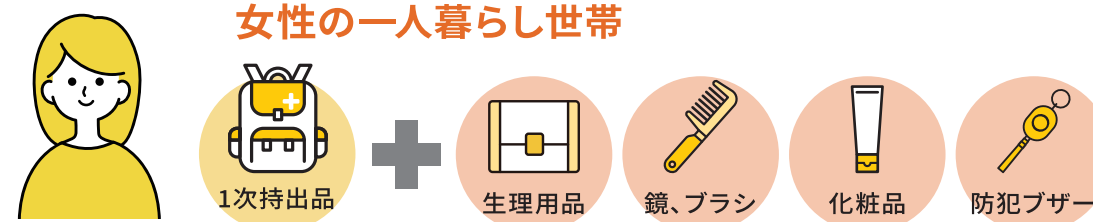
「1次持出品」とは、避難時にすぐに持ち出すべき最低限備えておきたいもので、被災時・非常時の最初の1日をしのぐための物品です。家族構成を考えて必要なものを必要な数用意しましょう。



高齢者のみの家庭



女性の一人暮らし世帯



乳幼児を持つ家庭

